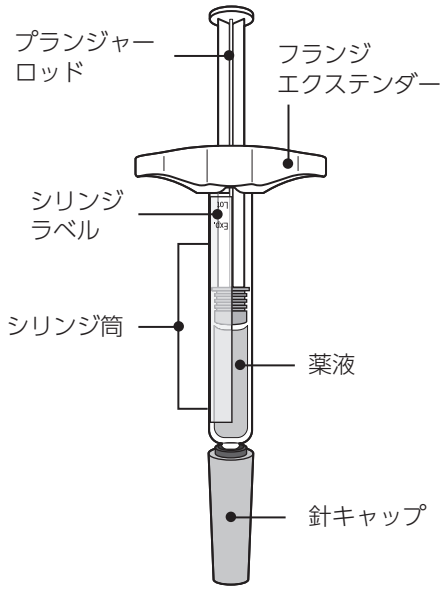
07783003

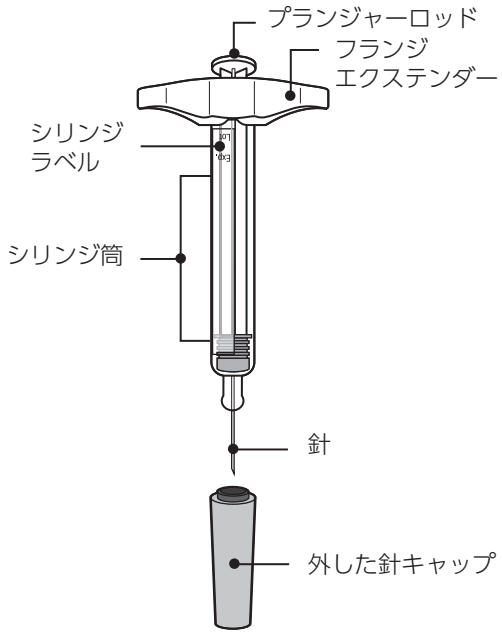
医療従事者向け取扱説明書：
イベニティ®皮下注105mgシリンジ

各部の名称

使用前



使用後



重要：針キャップ内に注射針が入っています。

重要

イベニティ®皮下注105mgシリンジを投与する前に、下記の重要な事項をお読みください

全量（210mg）を投与するために、箱に入っている本剤は2本とも投与してください。

保存時の注意

・保存時は外箱に入れ、本剤が光や衝撃を受けないようにしてください。
・外箱のまま冷蔵庫に入れ、2～8℃で保存してください。
・**凍結させないでください。**

投与時の注意

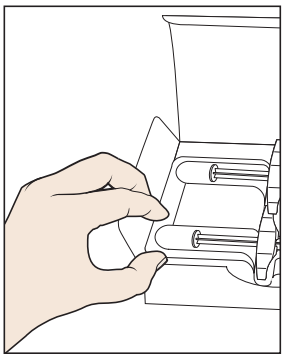
・ラベルに表示されている使用期限を過ぎた本剤は**投与しないでください。**
・外箱のまま冷蔵庫から取り出し、遮光した状態で30分程度かけて室温に戻してから投与してください。
・本剤を**振とうしないでください。**
・注射の準備ができるまで針キャップを**外さないでください。**
・凍結させないでください。凍結した本剤を**投与しないでください。**
・硬いところに落とした本剤は**投与しないでください。**シリンジ筒にひびなどが見えなくても部分的に破損しているおそれがあります。新しい本剤を投与してください。
・シリンジに天然ゴムラテックスは使用しておりません。

ステップ1：注射の準備

STOP **注射前に必ず本取扱説明書を読んでください。**

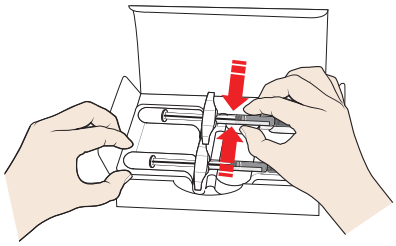
・全量（210mg）を投与するために、本剤2本を1本ずつ順番に注射してください。

A　外箱から本剤2本を取り出してください。外箱のシールが破れている場合は使用しないでください。



指でトレーを固定し、本剤をトレーから取り出します。

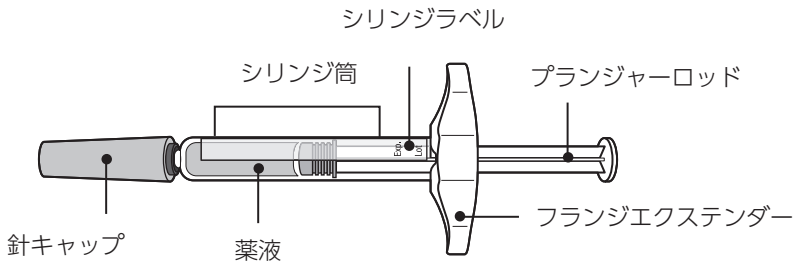
ここを持ってください。



シリンジ筒を持ってトレーから本剤を取り出します。

安全のために：
・プランジャーロッドを**持たないでください。**
・針キャップを**持たないでください。**
・注射の準備ができるまでは針キャップを**外さないでください。**
・フランジエクステンダーは**外さないでください。**シリンジの一部です。
・冷蔵庫から取り出し、遮光した状態で30分程度かけて室温に戻してから投与してください。
・一度室温に戻した本剤は冷蔵庫に**戻さないでください。**
・本剤をお湯や電子レンジなどの熱源を使って**温めないでください。**
・本剤を直射日光の当たるところに**放置しないでください。**
・本剤を**振とうしないでください。**
重要：本剤を持つ際は、必ずシリンジ筒を持ってください。

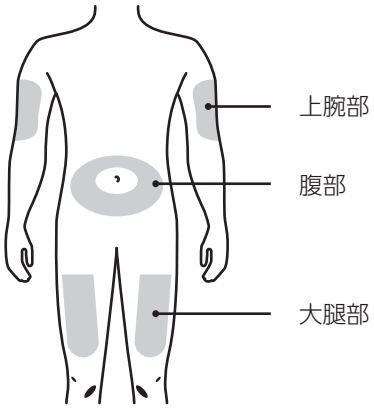
B　本剤を点検します。



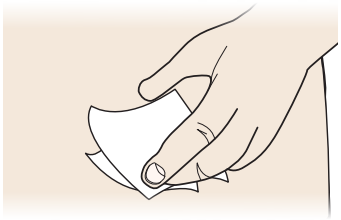
本剤を持つ際は必ずシリンジ筒を持ってください。
シリンジ筒内の薬液が透明で、無色から淡黄色であることを確認してください。
次の場合は使用しないでください。

・薬液が濁っている、変色している、あるいは浮遊物が入っている。
・シリンジ筒にひびが入っている、破損しているところがある。
・針キャップが抜けている、あるいはしっかりと取りつけられていない。
・ラベルに印字されている使用期限を過ぎている。

C **2本注射する部位をそれぞれ1か所ずつ決めて消毒します。**



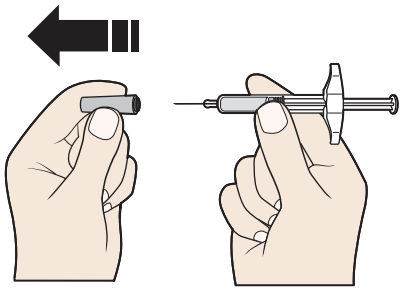
次の部位に注射できます：
・上腕部の外側
・腹部、ただしへそのまわり5センチ以内は避ける
・大腿部



・皮下にのみ投与してください。
・注射する部位をアルコール綿で消毒し、皮膚を乾かしてください。
・注射するまで消毒した部位に**触れないでください。**
・注射するたびに部位を変えてください。同じ部位に注射しなければならない場合には、前回注射した場所と同じ場所にならないようにしてください。
・皮膚が敏感なところ、挫傷、発赤または硬結している部位に**注射しないでください。**
・隆起、肥厚、発赤または落屑のある皮膚部位や病変、あるいは瘢痕や妊娠線のある部位への注射は避けてください。

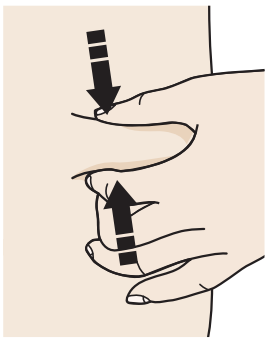
ステップ2：投与前の準備

D **注射の準備ができたら、1本目の本剤の針キャップをまっすぐに引き抜いて本体から外します。**



針先に薬液がついていても問題はありません。
・針キャップを**ねじったり、曲げたりしないでください。**
・針キャップをシリンジ筒に**戻さないでください。**
・注射の準備ができるまでは針キャップを**外さないでください。**
・薬液が乾かないように、針キャップを外したら、**5分以内に注射してください。**
・シリンジ筒には気泡が含まれている場合があります。気泡がシリンジ筒に含まれていても問題はありません。気泡を**押し出そうとしないでください。**

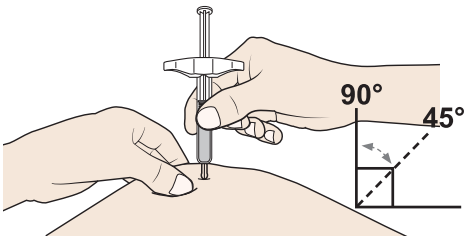
E **注射する部位をつまんで皮膚表面を硬くします。**



親指とほかの指で皮膚を5cm程度、しっかりとつまみます。
重要：注射中は皮膚をつまんだままにしておいてください。

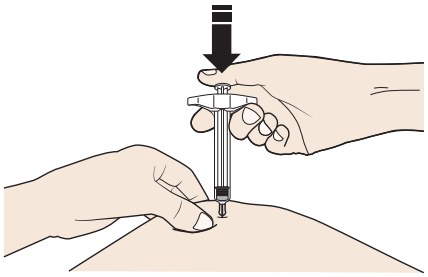
ステップ3：注射

F **皮膚をつまんだままにします。針キャップを外した状態で、注射針を45～90°の角度で皮膚に刺します。**

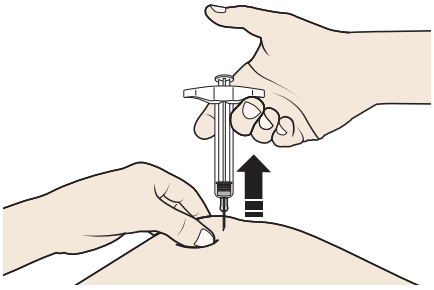


針を刺している間はプランジャーロッドに指をあてないでください。

G **ゆっくりと一定の圧力をかけて、動かなくなるまで完全にプランジャーロッドを押し込んでください。**



H **全量が注射されていることを確認後、親指を離し、静かに本剤を持ち上げて注射針を皮膚から抜きます。**



注意：皮膚から注射針を抜いたあと、シリンジ筒の中身は空になっています。

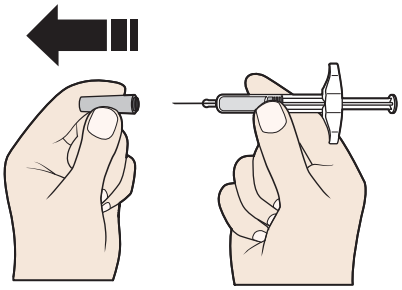
重要：シリンジ筒の中に薬液が残っているように見える場合は、全量を注射していないことになります。

ステップ4：終了

I **使用済みのシリンジは医療廃棄物の廃棄方法に従ってください。**

・針刺しを防ぐために、一度外した針キャップは元に戻さないでください。
・シリンジは再使用しないでください。

J **注射した部位を確認します。**

出血していたら、注射した部位を綿球または滅菌ガーゼで押さえます。注射した部位をもまないでください。必要に応じて絆創膏を貼ってください。

K **全量（210mg）を投与するために、2本目の本剤を用いてステップ2からステップ4までを繰り返します。**